



カメさんの
おねがい

なごさんはかぞくでうみにきています。

「おかあさんとおとうさん おくるまとってくるから
アイス たべてまってね」



「はーい。わかったー」



「アイスた

なごさん

アイス

からだ

たべは

「アイスたべちゃおー！」

なぎさくんは

アイスをつくら

がらだして

たべはじめ

ました。



びゅー!!

「あっ！」

つよいがせで
アイスのつくら
がらだしてしま
いました。

「とおくまでとんじやった...
でも ばれないうらうしいか」

ちよつとまっつて!!

どこからか こえがしました。



「だれだ？」

「ここだよ
「わあ!
はぎさ

「どうし
ぼく
お

「ここだよ! あ・し・も・と!」

「わあ! ちいさいカメさんだ! どうしたの?」
なぎさくんは たずねました。

「どうした じやないさ!

ぼくは きみに

おこってるんだよ!」

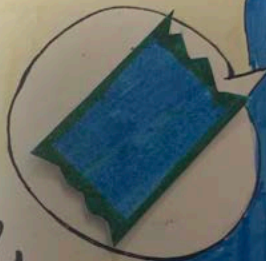


「おこってる...?」

「そうさ! きみ、ゴミを
すてただろう?

ひどいじゃないか!

ぼくらをころすき?」



カメさん!

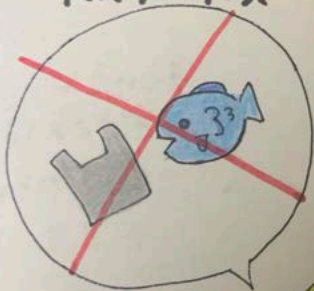
「ゴミを

なぎさくんはおどろきました。

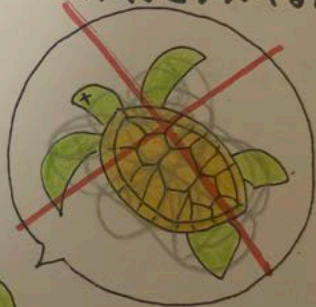
「こ、ころすだって!?!」

カメさんはせつめいしてくれました。

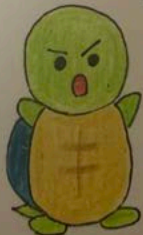
「ごみをごはんとまちがえて
たべちゃったよ、



ごみにかみま、たりにて
みんなきづいてるんだ



さいあくのばあい



しんじやう

んだよ!

「そんな…

ごめんねさい
カメさん。」

なぎさくんは
はんせいしました。



「ほく、ちゃんも
もちがえるよ。」

そういうと
なぎさくんは
ゴミをひろいに
いきました。

「わがってくわわいばいんだ!」
かみさんはうわしそうにうなずきました。



「じゃあ、ぼくはかえるわ。
ちゃんとごみはもちがえるんだよ。」

「わがってるさ!」

そいうと、ふたりは
わが水ました。

なぎさくんはカメさんとわが水たあと
このうみをきれいにしたくな、てきました。



「このうみを
ピカピカに
するぞ!!」

なぎさ
「よし!
なっ

なぎさくんはゴミをひろってあげました。

「よし! きれいになつたぞ!!」

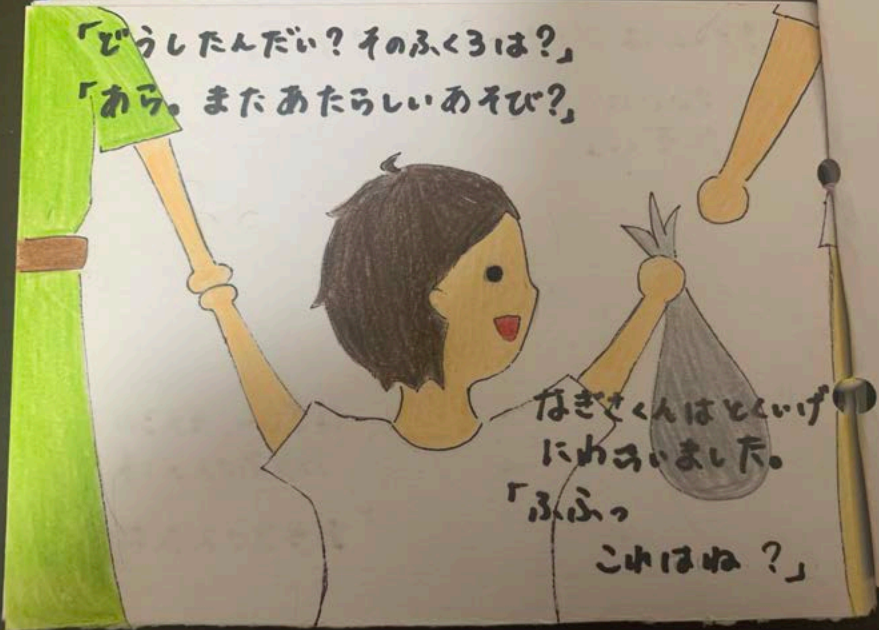


「なぎさー! がえるゆよー」
おがあさんのこえです。

「おがあさんたちだ!」

「どうしたんだい？ そのふくろは？」

「あら。またあたらしいあそび？」



なぎさくんはとくいげ
にゆきました。

「ふふっ

こゆはぬ？」



